

## 大谷学報 第五十一卷(昭和四十六年度)目録

## 第一号

涅槃經の説時について

横超 慧日

ベルグソンと文学—言語への不信に関連して—

岩見 至

院政期一貴族の信仰生活

堅田 修

真宗教判論序説—誓願一仏乗の意義を中心として—幡谷

明

## 第二号

浄土の讃歌—讃阿弥陀仏偈和讃覚書—

寺川 俊昭

Coleridge の想像力と空想との区別に与えた

Jean Paul Richter の影響について

山下 登

ミレトスのアナクシマンドロス

—その断片DK. 12 B1aについて—

箕浦 恵了

般若中観への道(上)

—「入中論」第六章の試訳「1」—

小川 一乗

## 第三号

新出の聖徳太子絵伝双幅

—前生と本伝をもつて成る—

梅津 次郎

M・ウェーバーの宗教社会学

小笠原 真

—「近代資本主義の精神」における宗教性の喪失過程について

般若中観への道(下)

—「入中論」第六章の試訳「1」—

小川 一乗

時宗の古和讃「本願」の構想

早苗 憲生

我が国学徒の第2次大戦後における体位の發育発達勾配に関する研究

瀬戸 進

—第一報 時代別の体格を中心として—

## 第四号

『ヨーガ・スートラ』における自在神

雲井 昭善

若きヘーゲルのキリスト像

訓覇 曄雄

宿善の二相

大門 照忍

幼児教育の基本問題

大竹 鑑

M・ブルーストの植物描写について

加来 一丸

—Jean Santeuil からの Temps perdu—

我が国学徒の第2次大戦後における体位の發育発達勾配に関する研究

瀬戸 進

—第二報 体格と運動能力・知能偏差値—